

熊本県中体連サッカー競技新型コロナウイルス感染防止対策

1. 事前の対応

(1) 参加者への連絡事項

参加予定チームの選手・スタッフ、に対して感染拡大防止のための措置として、以下の項目を求める。

① 以下の事項に該当する場合は自主的に参加を見合わせる。

- ・ 体調が良くない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
- ・ 同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる
- ・ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

② 参加者全員がマスクを着用してもらう。

③ 参加者全員の健康チェックリストを作成し提出する。※別添付

④ 競技会に参加する上で熊本県サッカー協会が示す注意事項を遵守する。

⑤ イベント中に誰とどのくらいの距離で何分くらい話したか、その時にマスクを着用していたかなど、他人との接触状況を記憶しておく。（感染者発生発覚の際の濃厚接触者特定把握のため）

※健康チェックリストには以下の事項を記載する。

ア 氏名、生年月日、住所、連絡先（電話番号、Emailアドレス）

イ 大会2週間前から当日までの体温

ウ 競技会前2週間における以下の事項の有無

- ・ 平熱を超える発熱
- ・ 咳（せき）、のどの痛みなどの風邪症状
- ・ だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）
- ・ 臭覚や味覚の異常
- ・ 体が重く感じる、疲れやすい等
- ・ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
- ・ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- ・ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間が必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

2. 会場における感染防止対策

(1) 本部

- ・ 本部テントにアルコール消毒液を設置する。
- ・ ドリンクを冷やすためのドブ漬けは使用しない。
- ・ 座席を設置する際にできるだけ2m間隔（最低1m）をあけ、お互いが正面に座らないよう配慮する。

(2) 手洗い場所及びトイレ

- ・ 手洗い場にはポンプ型の液体または泡石鹸を用意する。
- ・ アルコール消毒液を設置する。

(3) ベンチ

ベンチで間隔を空けて座れるよう、常設テント以外で各チーム追加ベンチを設置してもかまわない。

(4) 来場者対応

- ・ 体調の悪い人は来場を控える
- ・ 来場する際はマスクを着用する
- ・ 大声での声援や大旗を使っての応援は行わない
- ・ 場内ではそれぞれ2mの間隔（最低1m）を保ち、ハイタッチ、抱擁、肩を組むなどの行為は控える
- ・ 注意しても改善されない場合は退場してもらうなどの措置を講じる。
- ・ 来場者は原則として試合開始10分前にあわせて来場し、試合終了後には速やかに帰宅する。

(5) チームへの伝達事項

- ・ 試合前、試合後に相手チーム、審判団との握手は実施しない（入場後、正面背面に礼のみ）
- ・ 両チームベンチへの挨拶を実施しない
- ・ 円陣はしない
- ・ 倒れた選手に手を貸さない
- ・ 得点時にハイタッチ、抱擁を行わない（肘タッチまで）
- ・ ピッチ内でも咳エチケットを守り、つばを吐く、手鼻をかむなどの行為を行わない
- ・ 口に含んだ水を吐かない
- ・ ボトルを共有しない。また、ゲーム中はピッチ周りにはボトルはおかない。
- ・ 水・氷を溜めたクーラーボックスを共有しない。
- ・ タオル、スポンジ等を共有しない
- ・ ピッチ上でチームメイト、審判員と会話する際にも互いの距離についてしっかりと配慮する
- ・ ベンチやアップ等体を動かす場面以外ではマスクを着用し、会話を控える
- ・ 選手及びスタッフはマスクを着用し、会話を最小限に留める。ただし、指示を与えるスタッフ1名についてはマスクをはずして指示をだしたもかまわない。
- ・ 各チームにおいても消毒液を準備し、こまめに消毒したり、ゲーム後はベンチ内の消毒等も行う。また、拭きとるためのペーパータオル等についても準備しておく。
- ・ 参加チームは原則として試合開始前90分にあわせて来場し、試合終了後は速やかに帰宅する。また、更衣については送迎バス等において行うこととする。

(6) その他（審判員について）

- ・ 審判員はマスクを着用し、会話を最小限に留める。
- ・ 審判員同士のミーティングは会場で3密とならないスペース等を探して実施する。

3. 夏季における熱中症予防に向けた留意点

① マスクの着用

マスクの着用時はについて、屋外では人と十分な距離（少なくとも2m以上）が確保できる場合には、マスクを外しても構わない。

② 涼しい場所への移動について

参加者に対しては、少しでも体調に異変を感じたら、速やかに涼しい場所に移動する。

4. 事後対応

万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取り扱いに十分注意しながら、競技会当日に参加選手・スタッフ、運営関係者から提出された健康管理表を、保存期間（少なくとも1ヶ月）を明記した上で保存する。

5. 参加制限等について

(1) 参加スタッフ・選手及び参加生徒について

・ 参加スタッフは、参加申し込みに記載の監督・引率者・コーチの3名とし、参加選手は登録されている18名と準備等の手伝いのための5名（応援の際はベンチは不可）とする。会場への入場及び応援についても同様とする。なお、入場の際にはスタッフ、登録18名の選手には事前に配布のIDカードを着用し、それ以外の5名の生徒については、チームで分かる練習着やビブス等の着用を行うこととする。

(2) 参観保護者について

・ 会場において、参観できる保護者については参加申し込みに記載されている選手の保護者のうち各家庭1名とする。なお、入場の際には共通の応援Tシャツやビブス等の着用を行い、チームが分かるようにしておくこと。

(3) その他

・ 今後の感染状況によっては、県中体連本部から同じ制限（無観客）がかかる可能性もある。その際には、その指示に従い、大会運営を行う。